

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業の概要	事務事業名	台東区長賞					所管	文化産業観光部 文化振興課
	行政計画	事業NO.	57	計画事業名	台東区長賞作品などの公開			事業の開始・終了年度
	長期総合計画体系	[基本目標] I-3. 文化が息づく豊かな生活の創出						
		[小 柱] (2) 新たな文化の創造と発信						
	根拠法令等	その他	[法令等名]	東京藝術大学美術学部卒業作品展台東区長賞設定に関する覚書				
	事業対象	区民をはじめ広く一般、東京藝術大学大学生・大学院生および卒業生						
	事業目的	若手芸術家の育成支援を行うことにより、区民文化の創造や区民が芸術に触れる機会の提供を図る。						
	事業内容	東京藝術大学卒業・修了制作品への台東区長賞(絵画)、台東区長奨励賞(造形)授与を実施する。台東区長賞作品などの展示を行う台東アートギャラリー、台東区長奨励賞の展示を行う上野中央通地下歩道内展示ブース、インターネット上にて作品を公開する「ヴァーチャル美術館」の管理・運営を行う。また、区立施設にて展示環境を整備し、作品展示の機会を増やす等区民が芸術に触れる機会の提供を図る。						
	委託の有無	一部委託	委託内容	作品倉庫保管委託 作品展示委託等				
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度	
	活動指標	区長賞・奨励賞・壁画模写作品数	(累計)	188	156	164	172	
		ヴァーチャル美術館公開作品数	(点)	206	142	144	190	
	成果指標	ヴァーチャル美術館年間アクセス件数	(件)	11,500	32,038	56,171	41,291	
	決算額	(単位：千円)			7,222	7,869	9,845	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)			2,556	2,550	4,812	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			4,623	5,270	7,246	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			2,600	2,600	2,600	
		総経費			9,779	10,420	14,658	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			12	38	13			
一般財源(区負担額)			9,767	10,382	14,645			
前回評価から改善した事項	区長賞と奨励賞について、相乗効果を狙いあわせてパンフレットにてPRを行い、ポストカードを新規作成した。また、「ヴァーチャル美術館」にて、区長賞だけでなく奨励賞もご覧いただけるよう、これまでの奨励賞受賞作品を公開し充実を図った。さらに、区有施設に新規展示場所を2か所設置し、区民が芸術に触れる機会を充実させた。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	若手芸術家の育成支援は、営利目的の民間企業等では行われにくく、行政による継続的支援は意義がある。また、台東アートギャラリーや上野中央通地下歩道内展示ブースにて作品を展示することで、区民が芸術に触れる機会を提供している。作品展示には好意的な意見が寄せられており、区民等の関心は高い。					
	効率性	3	新規展示場所の設置や作品の保管、輸送・展示については、専門業者への委託により実施しており、作品公開と適切な管理の観点に気を配りながら効率的な運営に努めている。					
	手段の適切性	3	作品の保管や輸送・展示など専門知識・ノウハウを持った業者に委託し、区の貴重な財産である所蔵作品の公開と適切な管理運営を行っている。また、区長賞・奨励賞授与の実施や作品展示などは、東京藝術大学の協力を得て行っている。					
目的達成度	4	前年度と比較すると件数は減っているが、成果指標である「ヴァーチャル美術館」年間アクセス件数は目標値10,000件を大きく達成した。これは、QRコードを使用した周知等これまでのPR充実により、認知度が上がり、定着してきたためと考える。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
区の芸術文化振興のためにも、区長賞・奨励賞を授与し、継続的に若手芸術家の育成支援を行うことは重要である。また、継続して作品を所蔵していくことで作品自体の価値が高まり、区民をはじめ広く一般に対して、芸術に触れる機会の提供を充実させることができると考える。					維持			